

たくようだより



# たくよう

平成29年4月

No.72

春号

障害者支援施設  
就労継続支援B型事業所

相談支援事業所

外部サービス利用型  
共同生活援助事業所

新葉学園

しんよう

第1・第2 拓洋ホーム

発行者 社会福祉法人 拓洋会

薩摩川内市樋脇町塔之原4020

TEL:0996-37-2861 FAX:0996-37-2981

<http://takuyoukai.w.kobira.co.jp/>



▲ウォーキング大会開会式

## 新年度に向けて



社会福祉法人 拓洋会

理事長 高橋 洋治

桜の開花宣言が聞かれる今日この頃、寒かった冬からやっと春になったと実感しています。

今年も社会福祉法等の一部改正があり、社会福祉法人制度改革の主な内容として、公益性・非営利性を確保する観点から制度を見直し、国民に対する説明責任を果たし、地域社会に貢献する法人の在り方を徹底することにあります。

色々と法が変わっても、利用者様への支援はより重要で、一層のサービス向上に努めなければなりません。

今年には運動場整備と避難スペースの建設申請等を法人の重要課題として取り組んで参ります。

昨年は災害、事件事故の多い年でしたが、明るい年になる事と、開園三十三年目、初心を忘れる事なく職員一同、利用者様の処遇向上に精進して参ります。今後も皆様の御支援、御指導の程、宜しくお願致します。



▲ ハンドベルでクリスマス気分も盛り上がります



▲ 精鋭メンバーによるダンス



▲ 司会サンタとピコ玉利(笑)

# 家族会・クリスマス会

12/17

利用者 柴田 博和さん

十二月十七日のクリスマス会で、僕は司会をしました。生活介護のハンドベルやB型のダンス、職員のムービーがありました。とても楽しく出来たのでよかったです。



▲ 抽選待ち。「次、呼ばれないかな…」



▲ 毎年恒例クリスマス抽選会

# 利用者忘年会

12/26

利用者 上野 佐織さん

忘年会でカラオケをしました。会場に行ったら、不安でみんなうしろ向きでした。男性利用者一人と私と一緒に「らいおんハート」を歌いました。一人が一緒だったので、最後まで歌うことができました。ごうかな食事で美味しく、おなかいっぱいになりました。みんな楽しみました。



▲ 歌い終わった感想を尋ねるリポーター



▲ かんぱ〜い!!

# 新成人おめでとう!!

1/6

利用者 立野 ほの香さん



▲ 新成人代表として壇上に上がる立野さん

一月六日に市民文化ホールで「新成人を祝う会」があり、私は代表として誓いの言葉を言いました。きん張せすに発表が出来たのでよかったです。

新葉学園での生活は作業も楽しいですが、一番の楽しみは友達とおしゃべりをする事です。一年を通して夏祭りや運動会、旅行など楽しみがいっぱいです。これからもずっと新葉学園に通えるように、好き嫌いをせず何でも食べて体調管理が出来るとなりたいし、作業もたくさん出来るようにがんばりたいです。

利用者 久米 一沙さん

今年成人を迎えました。今まで自分は、何でも親にまかせてばかりだったのでこれからは自立出来るように、少しでも手伝いが出来るようにしていきたいです。B型事業所ではみんなと仲良く仕事を頑張りたいです。

利用者 池田 圭佑さん

僕は、今年二十歳になりました。僕は、B型事業所で作業を頑張っています。これからもみんなと仲良くしながら作業を頑張っていきたいです。

利用者 栢辺 省吾さん

ぼくは、はたちになりました。これからぼくは、健康に気をつけて毎日元気にお仕事したり、まわりの友だちと仲良くしていきたいと思えます。これからもよろしくおねがいます。



▲ 新成人を祝う会に参加しました



▲心地よい春風に吹かれて



▲堂々たる選手宣誓



▲大盛況のサービスコーナー

# 第二十八回 新葉ふれあいウォーキング大会

2/25

利用者 石原 桐也さん

支援員 小川 淳

二月二十五日、新葉ふれあいウォーキング大会がありました。今年は一五kmのコースに変わっていて、ボランティアの人たちがみんなに「がんばれー」と応援していました。ゴールをした後、豚汁とおにぎりを食べてとてもおいしかったです。食が終わった後、抽選会があつて僕はナイキのTシャツが当たつてうれしかったです。



▲ピコ撮郎と写真を撮ろう!!



▲笑顔でゴール

今年も社会福祉法人拓洋会の三大イベントの一つ、第二十八回新葉ふれあいウォーキング大会を平成二十九年二月二十五日(土)に開催しました。毎年四百名程の参加者が集い、今では地域のイベントとして根付いて利用者とのふれあい交流に繋がっています。当日は天候にも恵まれ、皆さん楽しそうに参加されていました。また、恒例のサービスコーナーも多くのボランティアの協力を頂き、手づくり特製パンや豚汁、おにぎり等を皆さんに振る舞う事が出来ました。最後の抽選会も盛大に盛り上がり、地域の方々からも続けて欲しいとの声が多く寄せられています。今後このようなイベントを通して地域を盛り上げて、利用者の皆さんにも楽しめるイベントを計画していきたいと思えます。



▲今から頑張りますp(^^)a

三月十二日に川内川河口マラソン・ウォーキング大会に参加しました。春びよりのよい天気の中、約千三百名の人たちと一緒に歩いてよかったです。僕たちは四kmコースを歩きました。空気がキレイで最高の二日でした。

利用者 植村 宏平さん



# 川内川 河口マラソン・ ウォーキング大会

3/12



▲手をつないで仲良くウォーキング♪

# 生活介護事業所 在園者外出

1月2日

利用者 清水 きよ子さん  
学園のバスでプラッセだいわに行つて、少しの買い物をしました。次に、笑やききょうで昼食をして、紫尾神社に行つてお参りとお守りを買いました。次は近くの温泉に行きました。温泉はとてもきもちが良かったです。



▲ 豪快な食べっぷり(^u^)



▲ お正月からごちそうです

# 拓洋会 花見

利用者 下島田 鈴子さん

4月12日

四月十二日、旧学園のえんていで花見がありました。天気がよくて桜がたくさん咲いてとてもきれいでおいしかったです。友達がカラオケをしたりものまねをして、とても楽しかったです。



# 生活介護事業所 日帰り旅行(県内)

1月13日

利用者 今東 惣二郎さん

一月十三日(金)、鹿児島市内の日帰り旅行が行われました。バスに乗ってレインボー桜島に行きました。そして、フェリーから降りた時かなり寒かったです。そこから歩いてレインボー桜島まで行きました。レインボー桜島ホテルに着くと昼食でした。昼食はマグマカレーが出ました。結構な量でボリュームがありました。イカフライやエビフライにカレーのルーがたくさんかかっています。次に向った場所は鹿児島水族館で、外で記念写真を撮つてから入館しました。たくさん魚がいてものすごくびっくりしました。また、日帰り旅行があつたらいいなと思いました。良い思い出となりました。

支援員 玉利 直喜

一月十三日に待ちに待った「錦江湾よりみちクルーズ」及びかごしま水族館日帰り旅行を行った。学園を出発し、鹿児島市方面へバスを走らせ一路鹿児島港へ。約五十分の錦江湾クルージングとなり、普段なかなか間近で見られる機会のない桜島を目の前にして、皆、身を乗り出して見ている。桜島到着後、昼食会場まで徒歩で移動しながらお腹を空かせ、楽しみにしていた桜島マグマカレーを美味しく食べる事が出来た。その後、売店コーナーで思い思いのお土産を両手一杯購入し再びフェリーに乗船、最終目的地のかごしま水族館へ移動する。水族館では、沢山の魚や見た事もない生物が生息しており、驚いてばかりだった。水族館見学後も、売店コーナーで記念になるお土産を購入されていた。時間が経過するのが早く、あつと言う間に旅行も終わり帰りのバスの中では、一日を振り返り思い出話で盛り上がっていた。普段外出出来ない方々もあり、日帰り旅行を行った事で少人数ではあつたが他者との親睦を深める事が出来た。



△前略、桜島フェリーより



△水族館の前で全員集合



△桜島フェリーにてくつろぎタイム

・1月18日～20日

# 生活介護事業所

# 利用者旅行(沖縄)

第一班

支援員 兼子 剛

今回は暑い沖縄と言うより暖かい沖縄を満喫してみようと言う利用者の意向で沖縄旅行を計画してみました。定期的に真冬の鹿児島から暖かい沖縄に行くと言う事で利用者の衣服選択には悩みましたが、飛行機を降りると南国を感じることが出来ました。天気の変化も多かったですが、太陽が出て来ると一月でも強い日差しを感じ沖縄だと思いました。観光では沖縄の名所を回り、琉球文化や郷土料理を存分に堪能し利用者の方々も楽しまれていたようです。

今回はバス・飛行機・モノレールなど様々な交通機関を利用しての旅行でしたが、観光場所によっては徒歩での移動が多く、数名の利用者に関しては常に付き添うなど転倒予防に努めました。帰園後、寒暖の差が大きく体調を崩す利用者がいないか心配しましたが、一・二班ともに大きく体調を崩す方もおらず、また特に大きなトラブルも無く日

利用者 松崎 美香さん

朝が早かったけど、ワクワクして目がさえていて楽しい旅が始まりました。沖縄そばを食べたり、首里城公園、万座毛、古宇利大橋、美ら海水族館はともきれいでした。沖縄居酒屋での食事、バイキングはとっても美味しかったです。みなさん、思い思いに沖縄かんこう旅行を楽しんでいました。



△沖縄美ら海水族館にきました



△シハヤサの大きさはビックリ(◎◎)



△首里城をバックに!!



△はいさ~い(ハロ)



△俺達カッコいいでしょ~♪



△沖縄名物「ソーキそば」

・1月25日～27日

第二班

支援員 橋口 初美

二班に分かれ沖縄旅行へ行って参りました。沖縄といえば海!というイメージがありますが、さすがに冬なので多少の肌寒さは感じられました。日中は陽射しが暖かく秋物の装い程度で良く、比較的過ごしやすい気候に感じられました。

初日は、部屋からビーチを一望出来るバルコニー付きのホテルで、食事は朝バイキングメニューとなっております。何にしようかと迷う程の品数が豊富に並んでいました。また、夜は無数の電球に明かりを灯したイルミネーションが飾られており、皆さん幻想的な気分を楽しんでおられました。

二日目の夜は居酒屋で沖縄でしか味わえない料理を十分堪能され、その後那覇国際通りまで足を延ばし沖縄最後の夜を楽しませ、土産品等の購入をされているようでした。怪我もなく全員無事帰園することが出来、利用者の方々

利用者 諏訪 信行さん

首里城公園や万座毛に行きました。そして、美ら海水族館では何種類ものお魚がおよいでました。ホテルについてから国際通りに買い物に行きました。ひさしにエイサー踊りも見れて良かったです。皆さん大変楽しそうでした。また行きたいと思います。



△これぞまさに、青い海~♪白い雲~♪



△わっぜ美ら海★



△バックには虹も出てました

△沖縄ならではの(°o°) 砂浜には無数のサンゴが!!



△めんそ~れ沖縄

項目\月	4	5	6	7	8	9
園内行事				拓洋会夏祭り(29)	夏季休暇	
会議研修	<ul style="list-style-type: none"> <li>幹部会議(5)</li> <li>給食委員会(11)</li> <li>ケース閲覧(4)(20)</li> <li>運営委員会(12)</li> <li>職員会議(19)</li> <li>グループホーム運営委員会(21)</li> <li>第1回家族会(22)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>幹部会議(2)</li> <li>ケース閲覧(2)(22)</li> <li>給食委員会(9)</li> <li>ひわき会・施設内研修(12)</li> <li>運営委員会(17)</li> <li>グループホーム運営委員会(19)</li> <li>ハイツ会(19)</li> <li>職員会議(24)</li> <li>パンプロジェクト委員会(26)</li> <li>法人監査</li> <li>評議員会・理事会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>幹部会議(7)</li> <li>ケース閲覧(2)(20)</li> <li>給食委員会(13)</li> <li>運営委員会(14)</li> <li>職員会議(21)</li> <li>グループホーム運営委員会(23)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>幹部会議(5)</li> <li>ケース閲覧(4)(20)</li> <li>給食委員会(11)</li> <li>運営委員会(12)</li> <li>ひわき会・施設内研修(14)</li> <li>職員会議(19)</li> <li>グループホーム運営委員会(21)</li> <li>ハイツ会(21)</li> <li>パンプロジェクト委員会(27)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>幹部会議(2)</li> <li>ケース閲覧(3)(21)</li> <li>給食委員会(8)</li> <li>運営委員会(9)</li> <li>職員会議(23)</li> <li>グループホーム運営委員会(25)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>幹部会議(6)</li> <li>ケース閲覧(5)(20)</li> <li>給食委員会(12)</li> <li>運営委員会(13)</li> <li>ひわき会・施設内研修(15)</li> <li>職員会議(20)</li> <li>グループホーム運営委員会(22)</li> <li>ハイツ会(22)</li> <li>パンプロジェクト委員会(29)</li> </ul>
その他	施設親善球技大会(29)	県障害者スポーツ大会(14)		福原川内市ふれあい障害者福祉大会		ブーンブーンフェスタ2017(文化祭) 施設職員親善ソフトボール大会 北薩地区ふれあいスポーツ大会

  

項目\月	10	11	12	1	2	3
園内行事	拓洋会スポーツレクリエーション大会(28)		利用者忘年会 クリスマス会(16)・餅つき(27) 大掃除/仕事納め(28) 年末年始休暇(12/29~1/3)	年末年始休暇(12/29~1/3) 仕事始め(4)	新葉ふれあいウォーキング大会(24)	花見
会議研修	<ul style="list-style-type: none"> <li>幹部会議(4)</li> <li>ケース閲覧(3)(20)</li> <li>運営委員会(11)</li> <li>給食委員会(13)</li> <li>職員会議(18)</li> <li>グループホーム運営委員会(20)</li> <li>法人内部経理監査</li> <li>評議員会・理事会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>幹部会議(8)</li> <li>ケース閲覧(6)(17)</li> <li>ひわき会・施設内研修(10)</li> <li>給食委員会(14)</li> <li>運営委員会(15)</li> <li>職員会議(21)</li> <li>グループホーム運営委員会(22)</li> <li>ハイツ会(22)</li> <li>パンプロジェクト委員会(24)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>幹部会議(1)</li> <li>ケース閲覧(4)(20)</li> <li>運営委員会(6)</li> <li>給食委員会(12)</li> <li>職員会議(13)</li> <li>グループホーム運営委員会(15)</li> <li>第2回家族会(16)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>幹部会議(10)</li> <li>ケース閲覧(9)(22)</li> <li>ひわき会・施設内研修(12)</li> <li>家族並びに施設職員研修会(13~14)</li> <li>給食委員会(16)</li> <li>運営委員会(17)</li> <li>グループホーム運営委員会(19)</li> <li>ハイツ会(19)</li> <li>職員会議(24)</li> <li>パンプロジェクト委員会(26)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>幹部会議(2)</li> <li>ケース閲覧(2)(20)</li> <li>運営委員会(7)</li> <li>給食委員会(14)</li> <li>職員会議(14)</li> <li>グループホーム運営委員会(16)</li> <li>評議員会・理事会</li> <li>グループホーム事業所研修会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>幹部会議(7)</li> <li>ケース閲覧(2)(20)</li> <li>ひわき会・施設内研修(9)</li> <li>給食委員会(13)</li> <li>運営委員会(14)</li> <li>職員会議(20)</li> <li>グループホーム運営委員会(23)</li> <li>ハイツ会(23)</li> <li>評議員会・理事会</li> <li>パンプロジェクト委員会(30)</li> </ul>
その他				新成人を祝う会(5)		

※利用者慰安旅行は、利用者の希望により実施いたします。(時期未定)



### 平成二十八年度 家族並びに施設職員研修会に参加して

就労継続支援B型事業所 保護者 久米 俊朗 様

この度、初めてこのような研修会に参加させて頂きました。家族として利用者と共に生きる中で、他の家族の皆様、それに関わる施設職員の方々の想いを、少なからず感じることができました。何よりであったと、帰路の途中、風は冷たく吹いておりましたが、気持ち少し暖かくなりました。以下、研修会での講演、並びに家族と会話をする中でのご感想も含めまして、報告と致します。

#### 1日目(八月十四日(土))

講演Ⅰ「障害者雇用における会社の仕組みと親の気持ち」  
講師：株式会社エコーコープ鹿児島  
代表取締役社長 卓間 寛氏

自らの体験を通して、会社として障害者雇用に至るまでの経緯、制度の理解から始まり、現場と利用者、家族との相互理解を基本として進めなければならぬ事など、解りやすく聴くことができました。以前、仕事上自分も経験した障害者雇用については興味深く、障害者の持つ特性(勤勉性・労働力の安定確保等)を生かした、適材適所の配置等、今後の周知活動もききまして、一人でも多くの雇用に繋がればと思います。

#### 2日目(八月十五日(日))

研修Ⅰ「家族として思いのこもった」  
講師：鹿児島市地区支部

自己紹介のあと話し合いが始まりましたが、皆さん同様に、家族、利用者の高齢化に伴う先々の不安。家族が先に逝った場合、我が子は、兄弟はどうなるのだろうか、それぞれの現在の環境、これまでの経緯は違いますが、同じような思いでいらつしやるのだなく、この研修会に参加しまして、改めて感じる事ができました。又、昨年の神奈川の事件に関しまして、決してあってはならない事であり、家族・利用者は、職員との信頼関係の上で生活しておりますので、今後も施設職員への健康面での配慮、並びに、地域とのふれあいをもちつつ、開かれた場所としての取り組みをこれからも続けていただければと思います。今、何か言おうとすれば、「まず、自分達も元気でいまして……」。

ですが、なるべくなら兄弟家族には負担をかけたくはないと思つのですが……。後見人に絡む部分として、これも現実とどう向き合えるでしょうか。

#### 2日北薩摩地区支部

自分の子供ではなく、姉妹をみる立場での発表。その障害の程度も様々ですが、自分も仕事がある中、度重なる手術、繰り返される入退院に、正面から向き合ってきた佐藤様。自分がその立場であったらと、置き換えて考えることでした。その想い、行動力に敬服。職員の皆様に対しては、「利用者には、笑顔で優しい言葉をかける努力を続けてください」とのお願いもありました。

#### 3日目(八月十六日(月))

講演Ⅱ「鹿児島(げな)がけがあいもした」  
講師：MBCタレント 野口 たくお氏

現場で日々利用者や向き合っている立場からの発表。家族も身寄りも失くした状況で、ここで最期を迎えたいと言われた時、自分達がどうすればその利用者を良い形で看取ることができるか。(西山氏)大変な努めではありますが、利用者の人としての尊厳を保ちながら、常に寄り添い、共に生きるという気持ちを忘れず、過ごしていただきたいと思つきます。

講演の一部に、笑つていふことの効用、大切さについての話がありました。どちらの割合が多い方が幸せなのかということもありますが、まず最近、声を出して笑つたことがあったかなと考へます。簡単な表現、こぼれ、きれいことでは済まされない現実と向きあつていらつしやる方が、私自身も含めほとんどだと思いますが、小さなこと、何か一つでも利用者の笑顔が、家族の笑顔が増える状況になればと思います。

最後に、このような機会を得まして、参加させて頂いたことに感謝します。同時に、決して人ではない、同じような想いでいらつしやる方がいるという事で、これからも家族、利用者、職員の皆様と共に、繋がりがら過ぎて行ければと思います。改めて、御家族、利用者、職員の皆様のご健康をお祈りいたします。ありがとうございました。

# 思い出アルバム

写真は楽しい活動の一部です



▲ ☆今年も立派な門松が出来上がりました☆



▲ お正月おせち



▲ ☆☆☆素敵なイルミネーションもお目見え☆☆☆



▲ 薩摩川内市共同募金委員会より血圧計を寄贈



▲ 鬼が来たぞ〜!!



▲ 初めての試み『パンバイキング』



▲ 仕事はじめ式



▲ 入来すずめ見学



▲ 西田栄養士、1年間お疲れ様でした(T.T)/



▲ おうちパンマスター『大美舞先生によるパン教室』

# 硬筆教室

講師 山本 恵里 様



▲今から始めま～す

利用者さんと職員の方を中心に十数名が教室に参加されています。

初めは小学一年生の課題を书写(お手本を見ながら真似をして書く事)から始めました。慣れない作業で皆さん苦労されていました。回を重ねる毎にコツをつかみ、上の学年の課題にもどんどん挑戦されています。最近では、「この書き順はどうですか?」「この部分が上手く書けません。」と積極的に質問も受けるようになりました。私の想像以上に上達が早く、これからは楽しみみです。

また、今年も練習の成果を他の皆さんに見て頂く機会も設けたいと考えていますので、楽しみにして下さる。



▲皆、熱心に頑張ってるね(^\_-)☆



▲赤ペンチェック!!

## 平成二十八年年度 知的障害児・者関係施設職員研修会

相談支援専門員 小川 淳

平成二十八年十月二十日、二十一日にかけて『知的障害児・者関係施設職員研修会』が鹿児島県サンロイヤルホテルにて施設職員の資質の向上を図ることを目的とした研修が開催された。今回は、研修Ⅰ『第五分科会 相談支援・地域生活支援』の事例をプレゼンすることとなり、相談支援専門員として抱える課題についてこれまでの経緯とその対処方法をまとめ上げ研修に臨んだ。

一日目の研修Ⅰは、桃山学院大学 准教授 松端克文氏による『個別支援のあり方についての検討』の講話で、日々の生活の中に潜む差別意識に敏感となり、その場面に直面した時に私達はどのように対応すべきなのか、事例を通して考えさせられた。また、利用者に寄り添い、理解しようとする真摯な姿勢と支援を心がけ信頼関係を構築する事が大切であると話があった。研修Ⅱ『事例から考える個別支援計画』で、事例発表をさせて頂き、分科会に参加した職員からも同様の事例を抱えているとの意見が聞かれた。相談支援は人との関係の元になり立ち、利用者との信頼関係を大切にしつつ相談支援専門員としてスキルアップに努めていきたい。

二日目の研修Ⅱは、『中堅職員の役割』講師(株)ヒューマンパワー 代表取締役社長 森山重康氏の講話を通して、「中堅職員の役割」・「社会人基礎力について」・「コーチング」といった傾聴のスキルや中堅職員として現場でサービスを提供しながら一緒に新任を育てていき、また育ちたくなる環境を作ることやライフステージに応じて必要な支援を提供していくこと等の話があり、意識しながら日々の業務にあたりたいと感じた。最後の研修テーマ「補助犬同伴が当たり前の街へ」では、補助犬に対する世間のイメージはペットという印象が強く、本当の役目が浸透されていないことに気づかされ、鹿児島県では補助犬の普及が十分に整っていない現状であった。今後補助犬の認識が広まれば身体障害者への自立に繋がると、我々も補助犬に対して正しい接し方を身につけなければならないと感じた。

今回、事例発表のプレゼンを通して改めて相談支援業務を振り返る機会となり、情報交換会でも他施設の状況を収集する事が出来た研修であった。中堅職員としての考え方や役割を理解しながら質の高い支援を心がけると共に、顔が見えるネットワークづくりや社会資源の把握に努めて学んだことを活かしていきたい。

## 平成二十八年年度 施設内研修

第六回 平成二十九年一月十二日(木) テーマ『樋脇の歴史』

講師 下川 明彦

第七回 平成二十九年三月八日(水)

テーマ『精神障害者の特性』

対象者の理解

講師 医療法人

樟南会 中郷病院

精神保健福祉士 末吉 直人 様



▲精神障害者の特性についての講話

## 新利用者紹介

利用者 淵上 倅歩さん

はじめまして。私は4月3日から新葉学園に来ました淵上倅歩です。わからない事ばかりですが、がんばりたいと思います。みなさんよろしくおねがいします。



## 編集後記

朝晩の寒暖の差が激しく、やと暖かな日が続くようになりました。皆様お変わりありませんか?

つい先日日まで桜の開花を心待ちにしてはいたはずが、気付けば桜花爛漫の頃は過ぎ、葉桜へとその姿を変えつつあります。

さて、「季刊春号」が出来上がりました。今後も充実した内容をお届け出来る様取り組んで参りたいと思っておりますので、宜しくお願い致します。(宇田)

【平成二十九年年度広報委員会】

利用者 正岡 和成さん

職員 池田 俊彦

職員 富来 玲奈さん

職員 小川 淳

職員 宇田 千鶴

職員 今村 智美

## お知らせ

<復職>

<栄養士> 三輪 優子(3月~)

<B型事業所 支援員> 藏前 美樹(11月~)

<退職者>

<栄養士> 西田 かおり(2月末)